



碧南ロータリークラブ週報

第2961回例会 令和2年11月4日(水)

- 会長 岡本 明弘
- 幹事 鈴木 泰博
- 会場監督(SAA) 服部 弘史

2020-2021 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp



ロータリーは機会の扉を開く

- 会報委員 林 俊行・石川鋼勇・牧野勝俊

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

地区ロータリー財団委員会 副委員長
地区資金推進委員会 委員長 野村紀代彦様 (刈谷RC)

会 長 挨 拶

失礼致します。本日は最初に大変おめでたいことを報告させていただきます。この度の秋の叙勲におきまして、平岩統一郎さんが旭日小綬章を受章されました。誠にめでたうございます。これからも益々ご活躍いただきますよう、ご期待申し上げます。



岡本明弘会長

11月になりました。早いもので本年度も5ヶ月目に入ってきました。本年度の方針は「温故知新」ということで、創設時と現在を1枚の写真を使ってお話をしてきました。11月からは少し変えて、現在のロータリーとロータリー活動についてのお話をしていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

11月はロータリー財団月間です。クラブは少なくとも1回は例会プログラムの中で、財団に関することをやるということが求められております。本日は地区資金推進委員会委員長の野村紀代彦さんにロータリー財団のことを教えていただけたということで、よろしくお願ひ致します。

本日は「ロータリー日本100年史」についてのお話をさせていただきます。このことは会員の皆様は既にご存知だと思いますけれども、私が注目する部分を少しご紹介させていただきます。10月20日に日本のロータリーが100周年を迎えたということで、この100年に向けて2013年から準備会が発足し、日本のロータリーの100年をまとめようということで、

進んでおりました。本来ならば、2020年10月20日までに「100年史」を発刊する予定でしたが、コロナの影響で今年度中の発刊予定に変更になりました。その内容は100年を俯瞰した物語「通史」、ロータリーの思想的変遷を概観する「ロータリー日本思想の潮流」、「100人のロータリアン」、「年表・資料」で、その4つを1セットにして「100年史」にするものであります。日本のロータリーの歩みを見ればわかるかなというものだと思います。そこで特に注目したいのは「思想の潮流」です。日本のロータリーは人生論を通じて「ロータリーは、基本的には、1つの人生哲学である」と言われて、その中で職業奉仕を一生懸命追求して、職業を通じて奉仕をする。あまり大きなことをやらずに個人で担うようなことをやるというようにことだったんですけれども、このことをきっちりと理解していないと、ロータリーは単なる人の集まりになってしまうのではないかという考えが「100年史」の中で表現されてくると思います。もう1つ、私はあまりよくわからないところがあるんですけれども、現在のRIが提唱している人とお金を使って大掛かりな奉仕活動に進んでいる考えについても、100年史編纂の場で立体的に捉えて表現されてくるようです。発刊された「100年史」を見れば、日本のロータリーの思想的変遷、日本のロータリーとRI的ロータリーの捉え方が、少し理解できるのかなということを会員の皆様にお伝えしまして、本日の会長告知と致します。

本日の例会もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリーレートの変更です。11月のレートのお知らせですが、現行1ドル105円から104円になります。
- ・ ガバナー月信11月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ 本日の例会終了後に205号室で第5回の理事会を開催致しますので、関係者の方はよろしくお願い致します。



鈴木泰博幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 65 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 13 名) 出席者 58 名	
出席対象者 58 / 63 名	出 席 率 92.06%
欠席者 7 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 野村紀代彦様 本日、ロータリー財団の卓話をさせていただきます。
- 伊藤 正幸君 野村先生、ようこそ碧南クラブへ。よろしくお願い致します。
- 加藤 良邦君 昨日、令和2年秋大祭お陰様にて無事に終える事が出来ました。深く感謝

致します。

平岩統一郎君
杉浦 勝典君

皆様のお陰で、秋の叙勲の栄に浴しました。

本日の卓話講師の野村紀代彦さんをご紹介します。お忙しいところ有難うございます。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

1日 佐久間克治君 15日 杉浦 邦彦君 20日 森田 英治君
21日 石川 鋼勇君 27日 奥田 雪雄君 29日 竹中 誠君

奥様誕生日

20日 木村 徳雄君の奥様 小百合様 28日 角谷 修君の奥様 由美様

結婚記念日

5日 杉浦 保子君・義己様 42年 8日 新美 雅浩君・美由紀様 33年
10日 宮地 秀夫君・美由紀様 35年 12日 角谷 修君・由美様 24年
19日 河原 康浩君・京子様 26年

入会記念日

4日 植松 敏樹君

クラブフォーラム

「ロータリー財団プログラムについて
～財団は、ロータリー会員の財産です～」

地区ロータリー財団委員会 副委員長

地区資金推進委員会 委員長 野村紀代彦様



野村紀代彦様

皆様、こんにちは。ご丁寧な紹介ありがとうございました。野村紀代彦でございます。例会の貴重な時間をお借りしまして、ロータリー財団のお話をさせていただく機会をいただきましたことにお礼を申し上げます。ありがとうございます。

先程、会長もおっしゃっていましたように11月はロータリー財団月間ということで、皆様にロータリー財団に対するご理解をより深めていただくという月間でございます。ロータリーの友等にロータリー財団の特集が組まれておりますので、是非ご覧になっていただきたいと思います。今日は皆様からの貴重なご寄付が世の中を良くするためにしっかりと使われているということ、そして、各補助金として皆様の元に戻ってくるということを少しでもご理解いただけるようなお話ができればいいと思っております。限られた時間ですが、どうぞよろしくお願ひ致します。

昨年度、碧南 RC 様には年次基金寄付お1人当たり163.82ドル、使途指定寄付（ポリオブ

ラス) お1人当たり 42.16 ドルのご寄付をいただきました。ご協力に感謝申し上げます。私共の地区ロータリー財団委員会は資金管理委員会(補助金会計を含め資金の管理)、資金推進委員会(各寄付のお願いと認証のお手伝い)、補助金委員会(補助金事業申請から報告までのお手伝い)、ポリオプラス VTT 委員会(ポリオ根絶活動と VTT 事業)、グローバル奨学生平和フェロー委員会(募集選考支援)の5つの委員会から構成されており、それぞれの活動をしております。私は資金推進委員会に属しております、寄付を集めることと寄付をいただいた方への認証のお手伝いをさせていただき委員会でございますので、まずは寄付のお話からさせていただきたいと思っております。

寄付の種類はご存知のように年次基金、ポリオプラス基金、恒久基金、その他の寄付になっております。年次基金は毎年続けていただく寄付のことで、お1人当たり 150 ドル以上のご寄付をお願いしております。これに関しましては3年後の地区活動資金として戻ってくるという訳でございます。My Rotary からオンラインでもお支払いができるようになっておりますので、ご活用いただければ幸いです。ポリオプラス基金はあと少しで実現できるポリオ根絶のための資金のことで、お1人当たり 30 ドル以上のご寄付をお願いしております。恒久基金はロータリー活動を末永く支えるための基金で、元金には手をつけずに運用益のみが WF・DDF などや一般管理費に使用されております。2018-2019 年度の投資収益は 2100 万ドルでございました。現在、13 億ドル以上集まっているということでございます。

さて、ご存知のことだと思っておりますが、地区補助金について少しご説明をさせていただきます。今年度、碧南 RC 様も地区補助金を使つての素晴らしい事業をなさっておりますが、クラブ単独もしくは、地区内の複数クラブで申請することができます。これは非常に使いやすい補助金ですので、今後も積極的にお使いいただければと思います。

事業を立案するに当たり考慮すべき点として、

1. ロータリー財団の使命を守るものであること。
2. ロータリアンが汗を流す活動であること。
3. 6つの重点分野に該当していなくても良い。

になります。

事業立案の際に特に注意していただくこととして、

1. 単なる寄付行為
2. 特定の受益者、団体に対する継続的な支援
3. 募金活動
4. クラブの行う周年式典、娯楽活動などの行事
5. 土地や建物の購入(建築は認められることもある)

などは行うことができません。

1 つ新しいニュースとしまして、グローバル補助金事業をお考えになっている場合、例えば、世界のどの国と組もうということを探す場合にロータリーのプロジェクトフェアが行われております、そこに出掛けていくための旅費、もしくは参加費に地区補助金が使えようになりました。

グローバル補助金の特徴としまして、

- ・大規模なプロジェクトに活用できる補助金（事業予算は3万ドル以上の活動が対象）
- ・2ヵ国以上のクラブ又は地区が参加する事業
- ・6つの重点分野の内、1つ以上が当てはまる事業
- ・長期的かつ持続的に効果が測定できる事業
- ・申請時期 随時受付
- ・事業期間 年度をまたぐ事業でも可能
- ・地区からの補助金の支給限度額は5万ドル
申請可能同額がロータリー財団本部から支給される
- ・クラブからの拠出がなくても可能

ということでございます。来年の7月1日から重点分野に「環境の保全」が追加されまして、7つの重点分野になります。

続きまして、VTTについてご説明をさせていただきます。昔はGSEなんてのもありましたけれども、それを少し変えた事業でございまして、職業研修チームとっております。職業研修チームとは、

1. 専門家チームを海外に派遣して研修を行う。
2. 専門家チームを国内に招聘して研修を行う。

というものでございます。職業奉仕事業であり、国際奉仕事業という訳で、全てグローバル補助金を使って行われております。

そして、ポリオ（急性灰白髄炎）でございまして、VTT委員会とポリオ委員会は1つの委員会でございます。皆様はポリオに関してよくご存知だと思います。ポリオは脊髄性小児麻痺とも呼ばれておりまして、一旦発症すると有効な治療法はございません。ワクチン接種による予防のみが有効でございます。ポリオ根絶はロータリーの最優先事業でございます。現在、世界でポリオが残っているのは、パキスタンとアフガニスタンの2ヵ国だけだと言われております。だいぶ減ってきたので、もういいんじゃないかと思われる訳ですが、一旦予防注射の手を抜きますと、あっという間に増えてしまい、今までやってきたことが無駄になると言われておりますので、手を緩めることなくやらなくてはなりません。

さて、あと1つ、グローバル奨学生平和フェロー委員会というのがございます。グローバル奨学生の講演を皆様は聞かれたことがございますでしょうか。私は数回聞いたことがあるんですが、若い方が世界平和のために真剣に活動をしているというのを聞くと、本当に凄いなと思う訳でございますが、彼らを育てるために皆様からの貴重なご寄付が使われております。

皆様からいただいたご寄付に応じまして、それぞれ認証が与えられます。年次基金、ポリオプラス基金に1000ドル以上寄付されますと、ポールハリスフェローという金バッジが与えられます。それが合計2000ドル、3000ドル、4000ドルと増えていくに従いまして、マルチプルポールハリスフェローということで、それぞれ色々な襟ピンが与えられます。そして、恒久基金に1000ドル以上寄付していただいた方にベネファクターという称号が与えられ、地区としましては各クラブ1名以上の方にベネファクターになっていただきたいとお願いしているところでございます。もう1つ、是非お願いしたいのが、毎年1000ドルの寄付を宣誓してい

ただくポールハリスソサエティになります。これは入会フォームがございませし、クレジットカードで払うこともできます。また、その他にご使用金額の0.3%~0.5%がポリオプラスに寄付されるロータリーカード（オリコとダイナース）もお持ちいただければと思います。

ロータリー財団が行っている様々な奉仕活動は会員の皆様からの貴重なご寄付によって成り立っております。今後ともロータリー財団へのご理解ご支援をよろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和2年11月18日（水）

卓話「ボートレースとボートレーサー」

ボートレーサー 佐藤博亮氏